

第11回 長良川流域新五流総地域委員会 議事概要

日時：令和4年8月4日（木）14:00～16:00
場所：OKB ふれあい会館 第1棟 6-3会議室

1. 議事

- (1) 規約の改正について
- (2) プランへの新規箇所追加について
- (3) 長良川流域における総合的な治水対策プランの進捗について
- (4) 市・町の取組・検討状況、課題等について
- (5) その他
 - ①新五流域総合治水対策プランの改定に向けて 【県河川課】
 - ②流域治水の推進について 【県河川課】
 - ③「岐阜県川の防災情報」の多言語化について 【県河川課】
 - ④自然災害伝承碑について 【県河川課】
 - ⑤砂防部局の取り組みの共有について 【県砂防課】
 - ⑥令和4年度の気象情報の改善について 【岐阜地方气象台】

2. 議事要旨

(1) 規約の改正について【資料1】

事務局より、資料1を用いて規約改正案（委員及び幹事会構成員の変更）の説明がなされ、異論なく改正案が承認され、同日付けで施行した。

(2) プランへの新規箇所追加について【資料2】

新規箇所に追加する長良川（場皿工区）について、資料に基づいて事務局より説明があり、質疑や意見交換等は特になく、新規箇所追加として了解が得られた。

(3) 長良川流域における総合的な治水対策プランの進捗について【資料3】

ハード対策（河川整備、耐震化、長寿命化）及びソフト対策について、資料に基づいて事務局より説明があり、質疑応答、意見交換がなされた結果、プランに基づいたハード対策及びソフト対策（土木事務所実施分）の進捗について了解が得られた。

質疑応答、意見交換の主な内容は以下のとおりである。

（藤田委員長）

- ・危機管理型水位計の設置状況について、拡充しているとの説明があったが、今後は、これらのデータを気象データとともに有機的・系統的に結び付けて有効活用し、地域の避難計画等に適切に取り入れていくことは次の課題になってくると思う。

→ (事務局) 危機管理型水位計については、岐阜県川の防災情報にデータを掲載することで、避難行動の目安として活用するとともに、地域的に水位が上がりやすいところが明確になる等の効果もあった。提示頂いた課題を含め、引き続き有効に活用していきたいと考えている。

(4) 市・町の取組・検討状況、課題等について【資料4】

・市町の取組・検討状況、課題等について、資料に基づいて笠松町および安八町から情報提供があり、質疑応答、意見交換がなされた。説明概要や質疑応答、意見交換の主な内容は以下のとおりである。

【笠松町】

・取組・検討状況 (「平時からの町民等への周知・教育・訓練に関する事項」、「情報伝達、避難計画等に関する事項」)、課題等 (「今後の課題や予定」) について、資料に基づき説明がなされた。

【安八町】

・取組・検討状況 (「ハザードマップ作成」、「防災学習の取組」、「災害情報配信」)、課題等 (「今後の課題や解決上の諸問題等」) について、資料に基づき説明がなされた。

(藤田委員長)

・笠松町にて設置している土のうステーションは何箇所設置されているのか。また、今後増設の予定はどのようなものであるか。

→ (笠松町) 現在、町内に3箇所 (各50袋)、小学校工区ごとに設置しており、当面増設の予定はない。

(5) その他

関係機関等から、以下の①～⑥の情報提供があり、資料に基づいて説明がなされ、質疑応答があった。それらの概要は以下の通りである。

① 新五流域総合治水対策プランの改定に向けて【資料5】

県庁河川課から、資料に基づいて、新五流域総合治水対策プランの策定・改定経緯および今後の改定スケジュール等について説明あり、質疑応答、意見交換がなされた。質疑応答、意見交換の主な内容は以下のとおりである。

(藤田委員長)

・短期、中期、長期目標の区分があるが、これは短期目標完了後、中期、長期目標に着手するということではなく、短期目標範囲を順次延伸し、中期、長期目標の達成を図るという認識で良いか。

→ (河川課) 上記の認識で間違いない。

(岐阜土木事務所)

- ・事後評価を来年度行うとのことだが、この評価をふまえてフォローアップ委員会でプラン改訂について検討していくという認識で良いか。
- (河川課) 上記の認識のとおり、地域委員会、フォローアップ委員会にてプラン改訂を検討していく。

(岐阜土木事務所)

- ・地域委員会でも検討を行うということは、開催予定時期の春から夏までには事後評価は完了しているということか。
- (河川課) 上記の認識の通り、今年度末から春にかけて事後評価を実施する見込みである。また、事後評価を進める中で、各土木事務所への照会も必要になるため、ご対応願いたい。

② 流域治水の推進について【資料6】

県庁河川課から、流域治水の推進および事例等について説明があった。

③ 「岐阜県川の防災情報」の多言語化について【資料7】

県庁河川課から、「岐阜県川の防災情報」における多言語化（英語、ポルトガル語、タガログ語、中国語）について紹介があった。

④ 自然災害伝承碑について【資料8】

県庁河川課から、国土地理院の自然災害伝承碑を地図に残す取り組みについて紹介があった。

⑤ 砂防部局の取組みの共有について【資料9】

県庁砂防課から、土砂災害の発生状況とそれへの防災体制、適切かつ有効であった避難事例、防災意識の啓発などに関する説明があった。

⑥ 令和4年度の気象情報の改善について【資料10】

岐阜地方気象台から、令和4年度における防災気象情報の改善について、1) 線状降水帯による大雨の可能性の伝達、2) キキクル（危険度分布）における「黒」の新設と「うす紫」と「濃い紫」の統合による警戒レベル相当情報化、3) 大雨特別警報（浸水害）の改善、の3点の説明があった。

以 上